

請 願 文 書 表

受 理 番 号	第 1 号
受 理 年 月 日	平成23年6月3日
件 名	公契約で働く人の「ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）」を実現し、経済成長につなげる「公契約基本法」の制定を求める意見書採択についての請願
請願者の住所 及 び 氏 名	桐生市錦町3-6-20 連合群馬桐生地域協議会 議長 飯野 光久
請 願 の 要 旨	平成22年6月18日に政府が閣議決定した「新成長戦略～『元気な日本』復活のシナリオ」では、「雇用の安定・質の向上と生活不安の払拭が内需主導型経済成長の基盤であり、雇用の質の向上が企業の競争力強化・成長へとつながり、その果実の適正な分配が国内消費の拡大、次の経済成長へとつながる」と述べ、「ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の実現に向けて取り組む」とされている。 しかしながら、現在の公契約を巡る状況はそれとは大きく矛盾するものとなっており、こうした状況を放置すれば、公契約の下で働く人達の労働条件の悪化などがサービスの質や市場価格の低下につながり、それがデフレの長期化や税収減少を招き、さらなる公共支出の削減圧力へつながるといふ負の悪循環に陥ることが強く懸念される。 よって、桐生市議会が、地方自治法第99条の規定に基づき、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣及び総務大臣に対し、公契約の下で働く人達の労働条件の悪化、非正規雇用化、教育訓練不足、さらには雇用の喪失などをもたらさないよう、公契約で働く人の「ディーセント・ワーク」を実現し、経済成長につなげる「公契約基本法」の制定を求める意見書を提出するよう請願する。
紹 介 議 員	小滝 芳江、園田 恵三
付 託 委 員 会	総務委員会